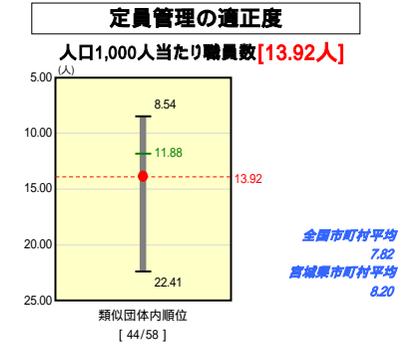
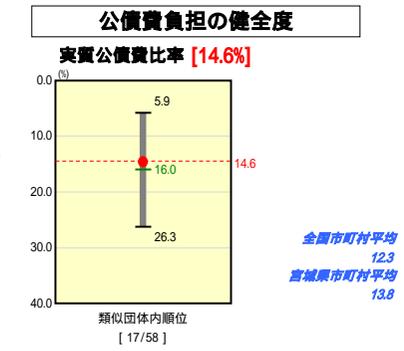
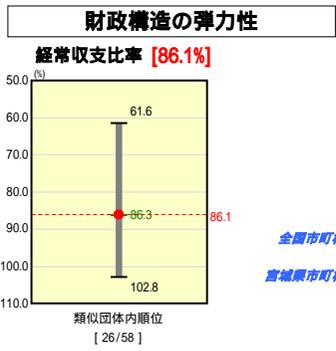
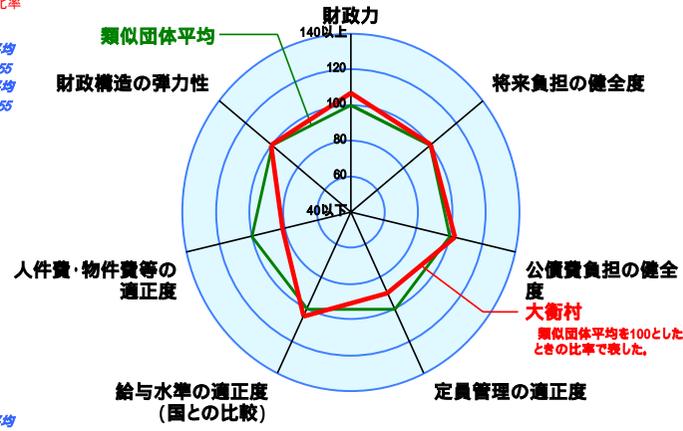
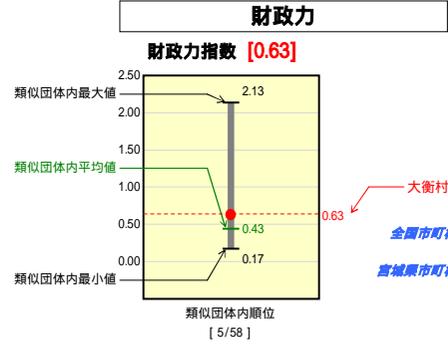


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 宮城県 大衡村

人口	5,605	人(H20.3.31現在)
面積	60.19	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,623,597	千円
歳出総額	3,416,415	千円
	203,779	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力**  
ここ3年間伸びを見せており、0.63となっている。これは企業立地等に努め、村税の確保に努めたこと等が要因として挙げられる。今後とも滞納額の圧縮など更なる徴収業務の強化に取り組むとともに職員の定員管理・給与の適正化等による歳出削減を実施する。

**財政構造の弾力性**  
類似団体の平均を若干下回っているが、計画的な職員の定員管理や手当の見直し、給与の適正化(高齢職員の昇給制度の見直し、退職手当の支給率の見直し、諸手当等の見直し)による人件費の削減、福祉関係経費の増加等により増加傾向にあるが、行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持するよう努める。

**人件費・物件費等の適正度**  
類似団体の平均を上回っている。これは平成18年度の公園及び一部施設の管理運営等に加え、今年新たに5施設の管理運営を指定管理者制度に基づき指定管理者に委託したためである。今後集中改革プラン等に基づき、事業の見直しを行い、一層の経費削減に努め適正化を図っていく。

**給与水準の適正度**  
平成17年度からの定員適正化計画等に基づき、手当等の総点検をはじめとする給与の適正化(給料表の運用、退職手当、特殊勤務手当など諸手当の見直し)を実施したことにより類似団体平均を下回っている。これからも一層の給与の適正化に努める。

**将来負担の健全度**  
現在のところ類似団体の平均を下回っている。今後平成20年度に小学校大規模改造事業や地域の基金整備事業等が予定されており、新規の地方債発行が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることがないように努める。

**公債費負担の健全度**  
従来から起債抑制などにより、類似団体の平均を大きく下回っている。大規模な事業計画の整理、縮小を考えると、これからも地方債発行額を極力抑え、引き続き現在水準の維持に努める。

**定員管理の適正度**  
類似団体平均を上回っている。定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進等、また事務事業の見直しによる効率化により職員数の削減を図り、職員の定員管理に努める。